

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	FHに引き取られた戦争孤児	カヴァー	
	ブラックドッグ					
オプション			年齢	18	性別	男
覚醒	素体	衝動	憎悪	初期侵食率	43%	
出自	戦争孤児	経験	虐殺	邂逅	身も心も・・・	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	4		0			4	行動値	6
感覚	2		0			2	(非装備時)	6
精神	2		0			2	戦闘移動	11
社会	0		0			0	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
		ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費	
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:		NaN	残り財産P:		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ハードワイヤード	5		常時	至近	自身	自動		
効果: アイテムをLv分常備化。侵食+4								
ペインエディター	1	5	常時	至近	自身	自動		
効果: 最大HP+Lv*5。侵食+3								
加速装置	1	1	セットアップ	至近	自身	自動		
効果: ラウンド中、行動値+Lv*4								
クイックダッシュ	1	4	セットアップ	至近	自身	自動		
効果: 戦闘移動。シナリオLv回								
磁力結界	3	3	オート	至近	自身	自動		
効果: ガード値+LvD。								
電磁障壁	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果: ガード値+4D。シーン1回。								
球電の盾	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果: ガード値+Lv*2								
電磁反応装甲	5	10	オート	至近	自身	自動	120	
効果: HPダメージ-20。複数回で累積。シナリオLv回。								
マグネットフォース	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果: カバーリング。メイン1回。								
自爆装置	1	4D10	オート	至近	範囲	自動	120	
効果: HP0時、対象にLv+2D。リアクション不能。1シナリオ1回。								
雷の加護	3	2	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 判定ダイス+Lv								
イオノクラフト	1	1	マイナー	至近	自身	自動		
効果: 飛行で戦闘移動。移動距離+Lv*2。								
MAXボルテージ	1	4	メジャー			対決	80	
効果: 攻撃力+10判定ダイス-1。シナリオLv回。								

戦争が頻発する国に生まれ、戦争が日常生活を送ってきた。戦争孤児という厳しい社会地位でありながら、彼は恵まれぬなりに、人にだけは恵まれ育てていった。いつも面倒をみてくれる兵隊たち、いつか恩返しをしたいとさえ思えるほど、彼は兵隊たちに敬意を持っていた。しかし、抱いた恩を返す相手は、今は枯れた大地に還って行ってしまった。

ギルドを利用し、戦争に勝利した戦争屋は、前田を捕縛し、兵隊として再教育しようとした。抵抗する前田に、ついに銃口が向けられた。やがて、前田は「痛みにより魂が浄化される」と信じて疑わなくなっていた。そのとき、拠点に客が入る。ギルドからの使者だった。男は後藤となつたが、容姿はくすんだ銀髪に堀の深い目鼻、濃いくまもと、三節昆のように細長い手足と日本人離れした身長。前田は一目で日本人ではないことを悟った。後藤と名乗る男は、戦争屋となにやら話していたが、覗いていた前田を見るに、戦争屋に前田を指さし説明を求めた。戦利品だと気味の悪い小笑い交じりに話す戦争屋に、後藤は抑揚なく、「これをよこせ」と端的に言った。男は焦り、訳を聞きかたがった。後藤は「被検体に若い体が欲しい」と述べた。男は恩を売れると感じたのか、二つ返事に承諾した。前田は、被検体がどれほど杜撰な扱いを受けるのかを知っていた。しかし抵抗もせず、後藤という男についていくことにした。仲間を残しのうとうと生きながらえた贖罪の機会を神が与えたのだと悟った。

日本へわたり、ギルドの支部を訪れた。後藤は、前田の衣服を脱がせるでもなく、何を教えるでもなく、手始めに苦い苦いブラックコーヒーを手渡した。手渡されたコーヒーを不格好に飲み下す。毒をろ過したように苦いコーヒー、食堂を登ろうとする胃液。

